

サプライチェーン・マネジメント

当社グループは、持続可能なサプライチェーンの構築に向けて、取引先との連携を強化しています。資源の適切な管理や生産・供給体制の整備を通じて循環型社会の実現に貢献するとともに、安定供給に向けた調達リスクの把握とその対策にも積極的に取り組んでいます。

調達方針

当社グループは、法令遵守、環境保全、人権尊重、公正な取引を基盤とした健全な調達活動を推進するため、「調達方針」に基づいて「CSR調達ガイドライン」および「グリーン調達ガイドライン」を策定し、お取引先さまと協働して、持続可能な調達活動に取り組めます。

調達方針

- 1. 日本パーカライジンググループは、お取引先さまと相互信頼のもと共存共栄の実現を目指します
- 2. 日本パーカライジンググループは、すべてのお取引先さまに対し調達取引の機会を提供し、品質・価格・納期等を考慮の上、公正かつ誠実なサプライヤーの選定を行います
- 3. 日本パーカライジンググループは、国内外の法令・社会規範等を遵守するとともに、お取引先さまに対しても同等の法令等の遵守を求めます
- 4. 日本パーカライジンググループは、環境、人権、労働安全衛生、企業倫理に十分配慮し、持続可能な調達活動に取り組めます

サプライチェーン・マネジメント

① 社会的責任に配慮した調達の推進（CSR調達）

当社グループは、CSR調達ガイドラインを策定し、人権尊重や差別の禁止、強制労働・児童労働の排除、責任ある鉱物調達、反社会的勢力の排除、情報セキュリティ対策など、社会的責任に配慮した調達を推進しています。また、環境面では法令遵守、省資源・省エネルギー、温室効果ガスの削減、生物多様性への配慮など、持続可能な調達の実現に向けた取り組みを推進しています。

📄 CSR調達ガイドライン
(https://www.parker.co.jp/ja/_pdf/csr/csr_guideline.pdf)へ

② 環境負荷低減に向けた調達活動の推進（グリーン調達）

当社グループでは、原材料の調達から廃棄までのライフサイクル全体を対象に、ヒトや環境への危険有害性が懸念される物質を管理するために「グリーン調達ガイドライン」を策定しています。具体的には、環境負荷の少ない製品・容器の採用など、お取引先さまと連携して、危険有害性物質の削減に取り組んでいます。

📄 グリーン調達ガイドライン
(https://www.parker.co.jp/ja/_pdf/csr/green_guideline4.0.pdf)へ

③ 紛争鉱物対応

当社グループでは、一部鉱物資源の取引が、紛争や人権侵害につながる可能性が指摘されていることを踏まえ、原材料として紛争鉱物を使用しない「コンフリクトフリー」の実現を目指し、社会的課題に配慮した調達を推進しています。

④ 安定供給に関わる取り組み

当社グループでは、製品・サービスの安定供給に向けて、調達先の多様化や在庫管理の最適化、サプライヤーとの連携強化、物流体制の見直しに取り組んでいます。また、事業継続計画（BCP）を整備し、非常時にも柔軟に対応できる体制を構築することで、供給責任を果たしています。

⑤ 持続可能な調達に向けたサプライヤーとの協働

当社では、すべてのお取引先さまに対し、毎月「調達短信」を配信しています。この短信では、直近の納入時に発生した不適合事例、重要事項のご連絡、ならびに品質管理に関する情報を共有し、サプライチェーン全体の品質維持・向上に努めています。また、お取引先さまとの相互理解を深め、より強固なサプライチェーンを構築することを目的として、2022年度より年1回の頻度でサプライヤーに対するアンケートを実施しています。2025年度の回収率は72%でした。今後も方針や取り組みに関する継続的な対話を通じて、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

サプライヤー調査結果

調査名／回収率	2023年度	2024年度	2025年度
紛争鉱物調査	90%	90%	91%
サプライヤーアンケート	50%	71%	72%

サステナビリティ戦略

持続可能な成長のあり方を探るため、私たちは2023年7月にサステナビリティ委員会を設置しました。委員長には代表取締役社長執行役員が就任し、企業として責任ある取り組みを推進しています。持続可能性に対する社会の要請を受け、「薬品」「加工」「装置」の3つの事業領域で、社会課題と真摯に向き合い、社会とともに歩むことを決意しています。

サステナビリティ基本方針

- 1. 日本パーカライジンググループは、製品やサービスの提供を通じ持続可能な社会の実現と企業価値の向上に取り組めます
- 2. 日本パーカライジンググループは、安全と品質を確保し、環境に配慮した製品やサービスの提供を積極的に進めます
- 3. 日本パーカライジンググループは、人権の尊重と雇用における機会の均等を通じ、多様な人材が活躍する社会の実現を目指します
- 4. 日本パーカライジンググループは、適切な情報開示とステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを図るとともに、公正・誠実な企業活動を行います

資源の有効活用で環境負荷低減を

表面改質は、地球上の限りある資源を有効活用し、新たな価値を創造する技術です。製品寿命の延長、リサイクル材・薄板・軽量材の活用、防錆による交換・廃棄の削減を通じて、CO₂排出削減に貢献します。当社グループの表面改質技術を採用すること自体が、サプライチェーン全体のCO₂削減につながり、顧客と共同で脱炭素化を進めます。プロセス・製品のGHGを“見える化”し、省エネ・再エネ・低炭素技術を組み合わせることで、安全・品質を確保した

環境配慮型ソリューションを実現します。

当社グループは、人材戦略と脱炭素化を一体で推進し、現場主導のエネルギー管理と人材育成を通じて環境負荷低減に取り組んでいます。さらに、国際基準に基づく透明性の高い情報開示を進めるとともに、サプライヤーや顧客との対話・共創を通じて、サプライチェーン全体でのCO₂削減と持続的な価値創造に取り組んでいます。